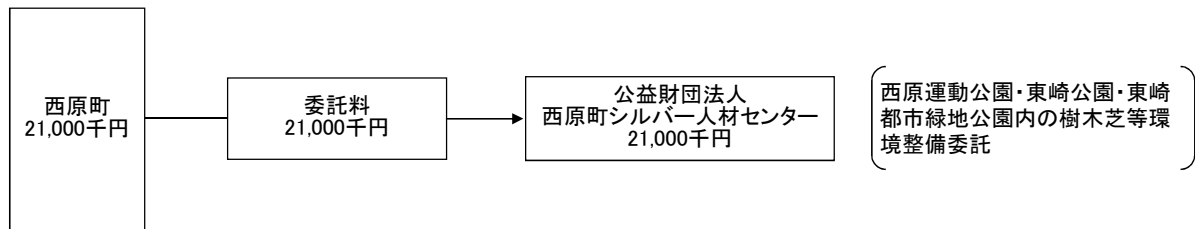


市町村名		西原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	観光地美化・緑化等環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	建設部 都市整備課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,672	30,672	30,672	30,672	30,672	22,680
		(b) 予算現額	30,672	30,672	28,000	28,000	28,000	21,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 2,672	▲ 2,672	▲ 1,680	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	30,672	30,672	28,000	28,000	21,000	
	B. 執行済額		28,000	30,500	28,000	28,000	21,000	
	うち交付金充当額		22,400	24,400	22,400	22,400	16,800	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		91.3%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算と、契約額に差額が生じ、不用の1,680千円を減額した。事業は予定どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 ①西原運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地		目標 ( 3箇所 )	( 3箇所 )	( 3箇所 )	( 3箇所 )		
	実績		3箇所	3箇所	3箇所	3箇所		
達成状況説明	・環境整備により、雑草や樹木の繁茂を抑制し美化・緑化を行い、随時沖縄らしい景観を保持し観光に貢献することができた。 ①西原運動公園：沖縄らしい景観を保持し、各種スポーツ競技やサッカーキャンプを開催し公園利用が活性化。 ②東崎公園：沖縄らしい景観を保持し、各種イベントやサッカーキャンプを開催し、隣接の東崎都市緑地やマリナーパークと一体的に利用し活性化。 ③東崎都市緑地：沖縄らしい景観を保持し、隣接する東崎公園やマリナーパーク及びビーチと一体的な施設として利用し活性化。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標			( 80%以上 )	( )	
			実績			80%		
	【参考指標】施設利用者数 西原運動公園・東崎公園・東崎都市緑地公園 225,000人		目標	( )	( )	( 225千人 )	( )	
			実績			247千人		
	【参考指標】施設利用者数 ①西原運動公園…サッカーキャンプ誘致 160,000人		目標	( )	( 160千人 )	( )	( )	
			実績		190千人			
	【参考指標】施設利用者数 ②東崎公園③東崎都市緑地公園及び西原マリナーパーク施設 835,000人		目標	( )	( 835千人 )	( )	( )	
		実績		880千人				
進捗状況説明	・成果目標について、当初は施設利用者の目標数を設定していたが、30年度からアンケートを実施し、効果を測定することにした。 ・環境整備による美化・緑化を行うことで、沖縄らしい景観等を保持し観光施設内を快適に利用できるようになったことにより、アンケート結果では80%が「とても良い」、「良い」と回答しており、目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・美化・緑化作業にあたっては、各公園で開催されるイベントの運営に支障がないよう配慮することが求められる。</p>	<p>・各公園のイベント日程を随時把握し、イベント運営に支障が生じない作業工程を検討する。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・魅力的な観光地としての景観の形成にあたっては、公園の利用に支障がないよう受託業者と綿密に調整しながら、沖繩らしい景観等の保持に努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
21,000	21,000	16,800	4,200	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○地方自治法第167条2第1項第3号の規定に準じて随意契約を行っており、妥当である。</p> <p>○不用額がないため、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については毎月の報告により検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断し適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町
------	-----

**平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-②	文化財環境整備活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				文化資源を活用したまちづくり
				Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
 本町内に分布する文化財の歴史的な景観の保持や、来訪者が散策しやすい環境づくりを目的とした環境美化・整備を実施する。また、これら文化財を活用するイベントの開催や、地域で活動するボランティア歴史ガイド団体の育成を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他(      )

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	7,976	8,121	8,449	8,692	9,230
		(b) 予算現額	7,976	8,121	8,449	8,691	9,230
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲1	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	7,976	8,121	8,449	8,691	9,230
		B. 執行済額	4,307	8,120	8,363	8,687	9,154
		うち交付金充当額	3,445	6,495	6,690	6,949	7,323
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	54.0%	100.0%	99.0%	100.0%	99.2%
		予算の状況の説明	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備については、当初の計画どおり、5月から実施し3月で終了した。 ・「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断・治療については、当初実施を予定していた時期(10月~11月)から少し遅れたが、12月には終了した。				

H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所	目標	(文化財24箇所×3回)	(文化財21箇所×3回 指定文化財3箇所×6回)	(24箇所)	(24箇所)
	実績	文化財24箇所×3回	文化財21箇所×3回 指定文化財3箇所×6回	24箇所	24箇所
町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断・治療	目標	(診察)	(診察)	(診察)	(診断・治療)
	実績	診察完了	診察完了	診察完了	診断・治療実施
文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回)	目標	(勉強会12回開催)	(勉強会12回開催)	(勉強会12回開催)	(勉強会12回開催)
	実績	勉強会12回開催	勉強会12回開催	勉強会12回開催	勉強会12回開催
文化財巡り等イベント開催:3回	目標	(イベント2回開催)	(イベント2回開催)	(イベント2回開催)	(イベント3回開催)
	実績	イベント2回開催	イベント2回開催	イベント2回開催	イベント2回開催
達成状況説明	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備について当初の目標どおり24箇所(文化財21箇所×3回、指定文化財3箇所×6回)実施した。 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」については、健康状態を確認するための診断と健全化を図るための治療を行った。 ・文化財ガイドの育成のための勉強会については、当初計画どおり12回開催した。 ・文化財巡り等イベントの開催については、当初計画していたイベントの1つ(歴史の道を歩く)が、雨天により中止となった。				

H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		文化財巡り等イベント参加者数120名以上	目標	( )	(歴史の道を歩く:40名 地域散策町内邑廻い:30名)	(歴史の道を歩く:40名 地域散策町内邑廻い:30名)
	実績		歴史の道を歩く:34名 地域散策町内邑廻い:26名	歴史の道を歩く:38名 地域散策町内邑廻い:32名	イベント参加者数191名	
進捗状況説明	・本町と町の歴史ガイド団体で開催したイベント参加者数は、191名(歴史講演会:148名、地域散策町内邑廻い:43名)となり目標を達成した。					

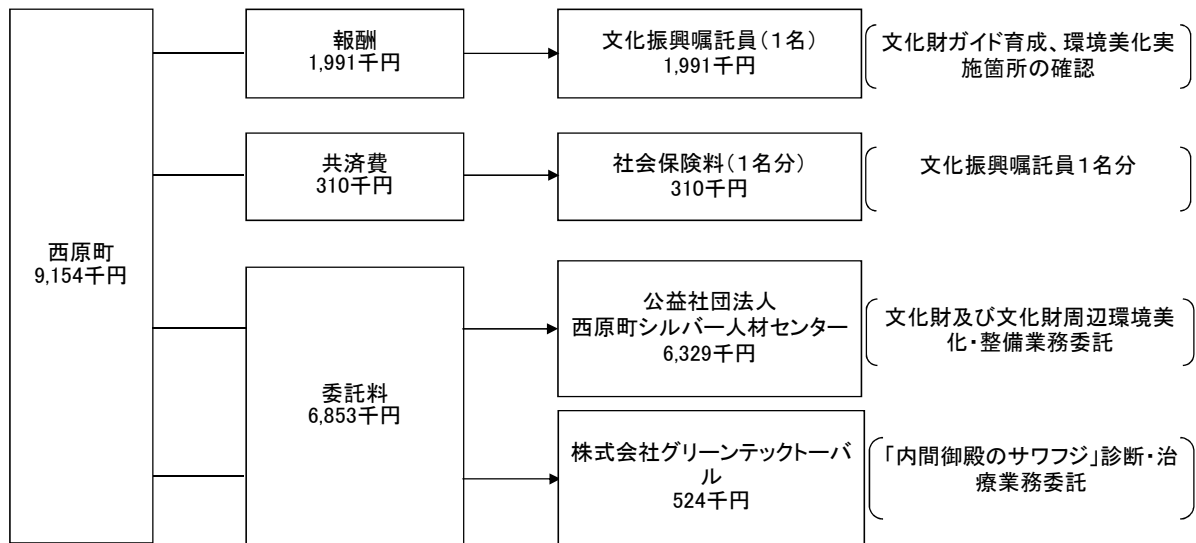
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の歴史ガイド団体に所属している会員の中には、まだまだ町内各地の文化財案内を行えるガイドが少ない現状がある。</li> <li>・今回の「歴史講演会」は定員80名で告知していたが、148名もの多くの参加者が集まったことでトラブルが発生した。</li> <li>・「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」(町指定天然記念物)は、本年度に健全化を図る目的で治療を施した。今後は樹木の様子を見ていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の歴史ガイド団体に所属する会員から町内文化財を案内できるガイドのなり手を増やすために、ガイド養成講座(別事業)を受け、修了した方については、積極的にガイド団体への入会を促していく。また、継続して町内の文化財についての勉強や、案内を行う機会を増やしていくなどの育成を図る必要がある。</li> <li>・「歴史講演会」の参加者が安心して講演を聞くことができるような環境を作る必要がある。</li> <li>・「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」は、引き続き年1回の診断を行い、樹木の状態が改善されているかを見ていく必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・今後も継続して文化財が所在する場所の基礎的環境整備を行い、町内の文化財についての勉強会や研修、文化財の案内ルートパターンを増やすなど、活用及び周知を行う。
- ・講演会会場の定員を超えた場合の立ち入り制限等について検討する。
- ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」は、引き続き年1回の診断を行う。ただし、今後、樹木の状態が改善されていないようであれば、別の改善策(治療方法)を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,154	9,154	7,323	1,831	0



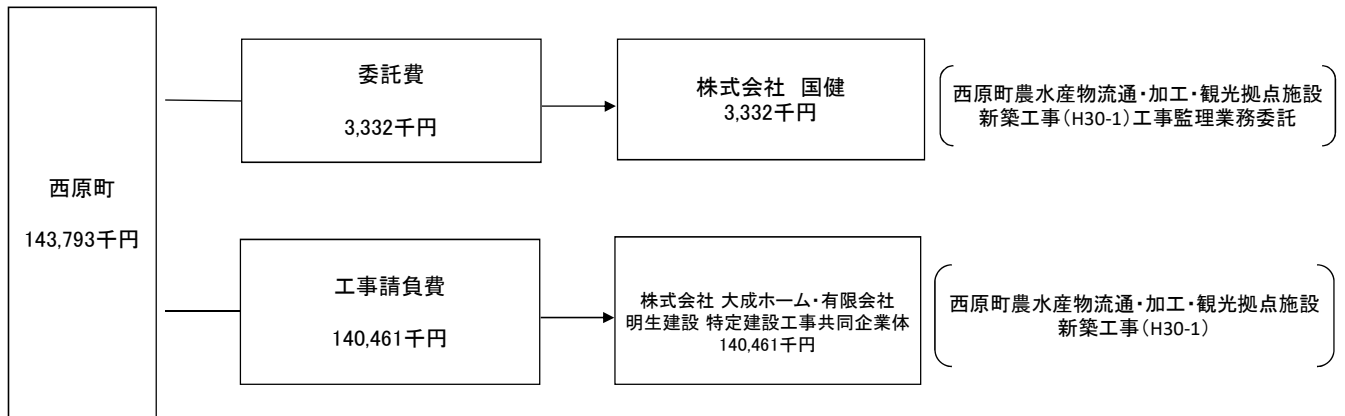
	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「文化財及び文化財周辺環境美化・整備業務委託」は、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定に準じて随意契約を行っており、妥当であったと考えている。また、「内間御殿のサワフジ」診断・治療業務委託は、指名競争入札で選定したが、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の0.8%以内であり、事業内容に見合った適正な予算規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、内訳書の提出及び清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町							
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	1-③ 農水産物流通・加工・観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(7)-イ				
	担当部課名	建設部産業観光課		事業実施(予定)年度 平成25～令和2年度		交流と共創による農山漁村の活性化			
				III-1-(1)					
事業内容	農水産物販売機能やレストラン機能などを併せ持つ施設を整備し、地元農水産物の消費の拡大を図る。								
効果発現年度	□当年度 ■後年度( R3 年度)								
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H25年度(繰越)	H27年度	H27年度(繰越)	H29年度	H30年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額			7,206		66,744	289,421	
		(b) 予算現額			345,253		60,053	147,906	
		(c) 増減額(b-a)	0		338,047	0	▲ 6,691	▲ 141,515	
		(d) 繰越額	8,480	—		322,221	—	—	
		A. 計(b+d)	8,480		345,253		322,221	60,053	147,906
	B. 執行済額		7,349		23,032		305,807	60,052	143,793
	うち交付金充当額		5,879		18,426		244,644	48,040	115,034
	次年度繰越額		0		322,221	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		86.7%		6.7%		94.9%	100.0%	97.2%
予算の状況の説明		H30年度予算の141,515千円減額については、当初、新築1期工事において造成工事及び地業基礎工事と鉄骨工事までを構成していたが、技術的かつ経済的合理性を精査し、造成工事及び地業基礎工事までとしたため減額となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況						
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			
	新築1期工事及び工事監理委託業務の実施	目標	( )	( )	( )	( 新築1期工事及び工事監理委託業務の実施 )			
		実績				新築1期工事及び工事監理委託業務の実施			
	【参考指標】各委託業務及び建設用地造成設計の実施	目標	( 基本・実施設計策定 )	( )	( 土木実施設計等策定 )	( )			
		実績	基本・実施設計策定		土木実施設計等策定				
【参考指標】用地取得の実施(面積:463.68㎡)	目標	( 用地取得面積:7701㎡ )	( )	( 用地取得面積:463.68㎡ )	( )				
	実績	用地取得面積:7,855.82㎡		用地取得面積:463.68㎡					
達成状況説明	平成30年度は、新築1期工事及びそれに伴う工事監理業務を実施した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R3年度)		
	新築1期工事及び工事監理委託業務の完了	目標	( — )	( — )	( )	( 新築1期工事及び工事監理委託業務の完了 )	( — )		
		実績	—	—	—	新築1期工事及び工事監理委託業務の完了	—		
	【R3年度成果目標】 供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 (農水産物販売機能) 年間総売上225百万円 (地域住民が活用できる厨房機能) 年間利用件数96件 (地域情報展示発信機能) 本施設について、来場者へのアンケート調査を実施し、西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	目標	—	—	—	—	(販売機能) 売上225百万円 (厨房機能) 利用件数96件 (展示発信機能) 満足度80%		
		進捗状況説明	平成30年度は、新築1期工事及びそれに伴う工事監理業務を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建築関連工事については、全国的に作業員の不足や資材の納期遅延が生じていることから、新築2期工事(建築工事・電気工事・機械工事)の円滑な執行に懸念がある。	新築2期工事(建築工事・電気工事・機械工事)の円滑な執行に向けて、早期に事業を進めていく必要がある。
今後の取り組み方針		
新築2期工事(建築工事・電気工事・機械工事)の早期着工を目指し、計画的に執行を進める。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
157,496	143,793	115,034	28,759	13,703



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用・用途については、事業目的の観点から、必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	小学校外国語活動指導員派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	外国語活動指導員を配置し外国語への興味・関心を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	1,840	1,840	1,840	1,840	4,300
		(b) 予算現額	1,840	1,760	1,760	1,840	4,300
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 80	▲ 80	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		1,840	1,760	1,760	1,840	4,300
	B. 執行済額		1,760	1,760	1,760	1,836	3,784
	うち交付金充当額		1,408	1,408	1,408	1,468	3,027
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.7%	100.0%	100.0%	99.8%	88.0%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施したが、当初の指導員の出勤見込日数の減数により報酬等が減額になったことから、不用(516千円)が生じた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	外国語指導員2名配置		目標 ( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	( 2人 )	
			実績 2人	2人	2人	2人	
達成状況説明	・町内4小学校へ公募によって選定した小学校外国語活動指導員2名を配置し、目標を達成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	目標	(      )			( 80%以上 )	(      )
		実績				85%	
	【参考指標】 英語の授業が「好き」と答えた児童が85%以上	目標	(      )	( 80% )	( 85% )	(      )	(      )
		実績		95%	94%		
	【参考指標】 町内小学校英語派遣指導員派遣率100%	目標	(      )	( 100% )	( 100% )	(      )	(      )
		実績		100%	100%		
	進捗状況説明	・児童生徒を対象にアンケートを行った結果、「外国語への興味・関心が高まった」との回答が85%となり、目標を達成した。 ・目標を上回った要因としては、授業のなかでゲームやクイズ、歌など取り入れたり、電子黒板やカード教材等を効果的に活用するなどの創意工夫をおこなったことによるものと考えます。また、指導員本人が体験したエピソードもまじえながら外国文化を紹介することで、外国をより身近に感じることもつながったのではないかと考えます。					

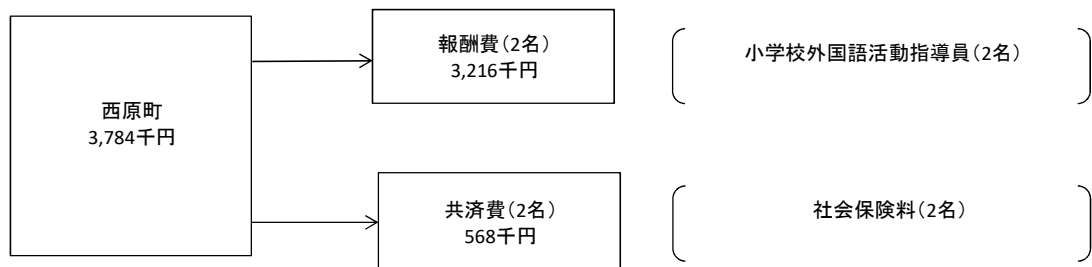
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートにより英会話に対する消極的な面もみられた。</li> <li>日中の授業のサポートのほか、教材研究や教材作成、学級担任と授業の打ち合わせなどの時間確保が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英会話についての授業カリキュラムの強化を検討する。</li> <li>学校の日課に柔軟に対応できるよう、勤務体制を見直す必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 英会話に対しさらに児童の積極性を引き出せるように、教材をより効果的に活用し、学級担任との事前打ち合わせを密にして授業カリキュラムの工夫・改善を図る。
- より効率的な指導員配置ための勤務体制を整える。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,784	3,784	3,027	757	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○各小学校の授業数を勘案しながら、外国語指導員の活動時間を設けており、予算規模、活動時間についても、小学校の授業内容に見合った適正な規模であると考えています。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、外国語教育に即し、事業の目的達成のため真に必要なものと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	教育相談員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育部 教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 III-3-(1)	
事業内容	町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	■直接実施      □委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840
		(b) 予算現額	3,840	3,840	3,764	3,840	3,697
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲76	0	▲143
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		3,840	3,840	3,764	3,840	3,697
	B. 執行済額		3,840	3,840	3,764	3,840	3,697
	うち交付金充当額		3,072	3,072	3,011	3,072	2,957
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	教育相談員配置数:4人	目標	( 4人 )	( 4人 )	4人	4人	
		実績	4人	4人	4人	4人	
	教育委員会との会議(児童の情報共有及び情報交換他)の実施(5回以上)	目標	( 4回 )	( 4回 )	( 5回以上 )	( 5回以上 )	
		実績	9回	10回	5回	5回	
教育相談員の定期的な学校訪問	目標	(      )	(      )	( 実施 )	( 実施 )		
	実績			実施	実施		
達成状況説明	○教育相談員を4名配置した。 ○教育委員会との連絡会議を年5回開催した。また、町生徒指導主任教諭と教育委員会との連絡会議を年に5回開催した。 ○学校訪問を小中学校6校全体で166回訪問し、学校との連携維持に努めた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	目標	(      )	( 10%以上 )	( 28%以上 )	(      )	(      )
		実績		28.40%	28.07%		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	○教育委員会との会議や都度の事務連絡等において、児童生徒の情報共有を図った。また、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)、こども課、社会福祉事務所などの関係機関との連携強化も図ることが出来た。 ○相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合は小・中学生全体で28.07%だった。個別に見ると小学生35.7%、中学生20.7%だった。小学生においては早い段階(登校渋り)から発見し、対策を立てることで状況改善に向かう傾向が見られた。一方、中学生においては不登校の状態が膠着化する傾向が見られた。 ○成果目標を上回った要因としては、相談員の取組に加え、SSWやSC、こども課などの関係機関からの多面的な働きかけがあったことによるものと考えられる。今後もこれらの関係機関と連携を密にし、“チーム”で関わることで成果目標を達成することが見込まれると考える。 ○家庭訪問や三者面談等の学校行事にあわせて教育相談室の案内チラシを配布するなど相談室の周知を図った。					

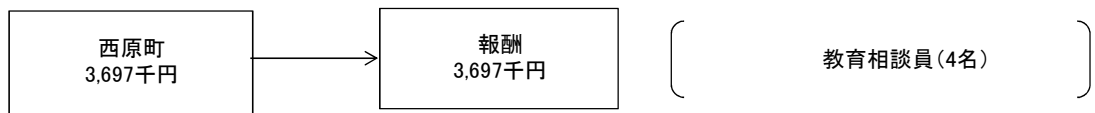
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①中学生において状況改善に向かった割合は小学生と比較すると低い。 ②児童生徒や保護者のその時々状態により、改善状況が一進一退する傾向がある。	①中学生においては学年に応じた取組をおこなう必要があると考える。まず1年生については、問題行動に発展する前の“早期発見・未然防止”の対策を強化し、2年生については関係機関との連携を密にして情報共有を図りながら、“見守り・寄り添い”の姿勢で支援を継続していく必要がある。また、3年生は受験生ということもあり、将来の進路に対する本人の自覚の芽生えや行動を促すような働きかけ・支援の強化が必要と考える。また、学校訪問をより効果的に活用し、教職員との共通理解を図り情報共有を密におこなう必要があると考える。 ②問題解決のためには保護者への支援・働きかけが重要であると考え。

**今後の取り組み方針**

①引き続き学校、教育委員会などの教育機関や、こども課、福祉事務所などの関係機関との連携強化・維持を図り、問題行動に発展する前の“早期発見・未然防止”の取組を強化していく。また、相談業務や学校訪問のほか、必要に応じて家庭訪問をおこない、児童生徒や保護者の状況を確認し、寄り添った支援をおこなう。  
 ②保護者への支援のアプローチとして、教育相談室について広報誌やチラシ等により周知強化を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

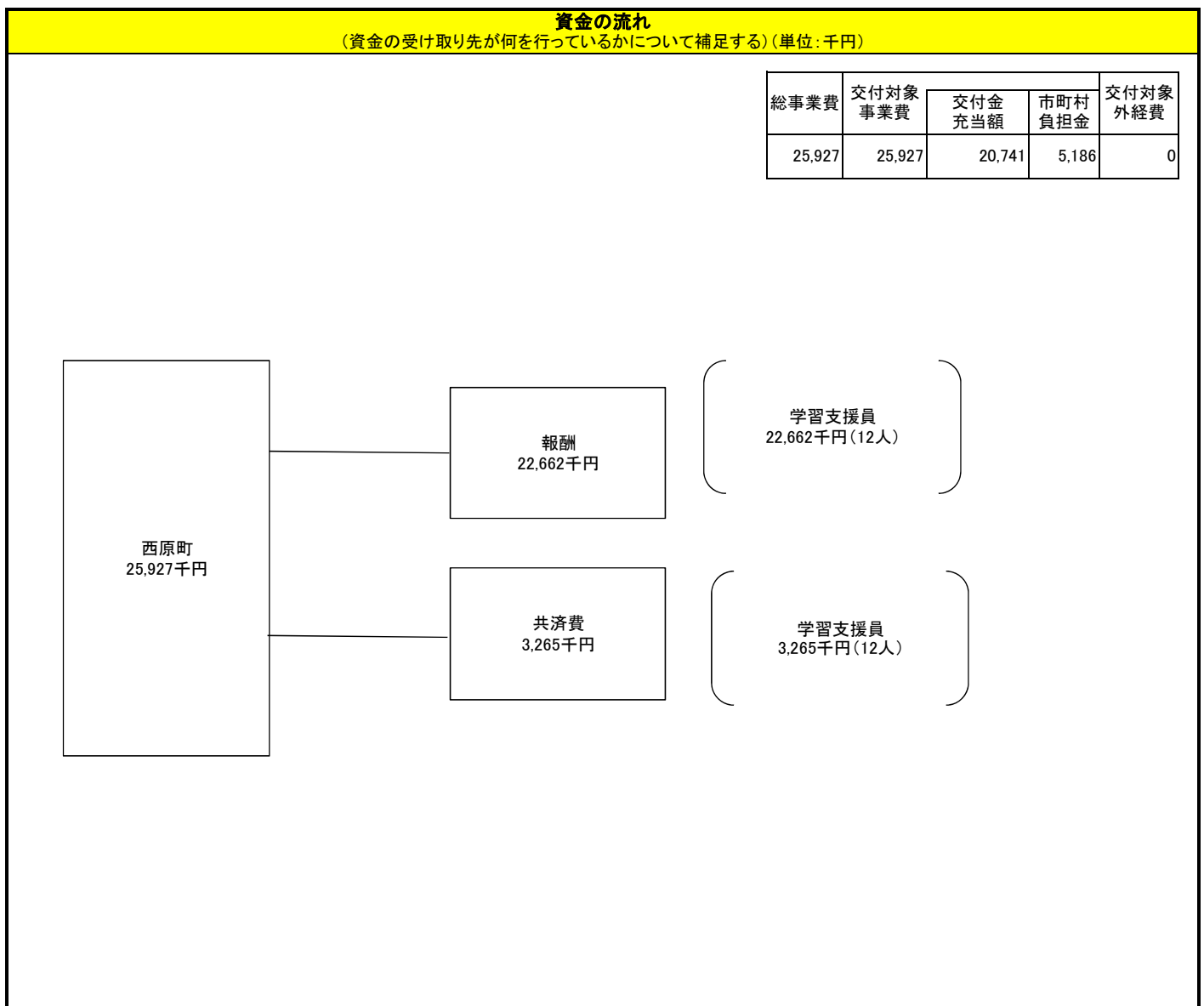
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,697	3,697	2,957	740	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○教育相談員は青少年の教育に関して豊かな識見を有する者に対して委嘱しており妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適性規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、出勤簿及び毎月の活動報告書、児童来室状況報告書にて確認し、事業目的に合致していると判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育部 教育総務課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 III-3-(1)	
事業内容	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	30,778	39,680	39,687	39,750	26,552
		(b) 予算現額	30,778	39,680	39,687	39,610	26,552
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	0	0
		A. 計 (b+d)	30,778	39,680	39,687	39,610	26,552
	B. 執行済額		30,224	39,503	38,864	39,063	25,927
	うち交付金充当額		24,179	31,601	31,090	31,249	20,741
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		98.2%	99.6%	97.9%	98.6%	97.6%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	学習支援員配置(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	目標	( 小学校:12人 中学校:6人 )	( 小学校:12人 中学校:6人 )	( 小学校:12人 中学校:6人 )	( 小学校:8人 中学校:4人 )	
		実績	小学校:12人 中学校:6人	小学校:12人 中学校:6人	小学校:12人 中学校:6人	小学校:8人 中学校:4人	
			目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明		・予定通り、小学校4校へ各校2名の計8名を配置、中学校2校へそれぞれ2名の計4名を配置することができた。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
	・沖縄県学力到達度調査における平均正答率の 県との差 小学校: 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 中学校: 国語 -0.2以内 数学 +1.0以上	目標	( )	( 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 国語 -0.2以上 数学 +1.0以上 )	( 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 国語 -0.2以上 数学 +1.1以上 )	( )	( )
		実績		国語 +2.55 算数 +4.38 国語 -1.60 数学 +2.05	国語 +1.60 算数 +1.50 国語 -3.10 数学 +2.75		
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明		・小学校においては、学習支援員と学級担任が連携し、取り組んだ結果、国語で1.6ポイント、算数で1.5ポイント県平均正答率を上回ることが出来たが、目標にはやや届かなかった。 ・中学校においても学習支援員と学級担任・教科担当教諭が連携し、学力向上を図ったが、国語では-3.1ポイントとなり、目標を達成することが出来なかった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県学力到達度調査の町全体の成績自体は前年度と比較し、大きく変化はない。しかしながら、沖縄県全体の学力が向上しており、現行の県平均との差では事業効果を適切に測定できているか課題がある。</li> <li>・本町ではこれまで、成績で所謂底上げの取り組みを重点的に行ってきたおり、これが現在の成績に繋がっていると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果を適切に測定できるような成果指標の設定を検討するとともに、県平均に満たない正答率の部分について、学力向上に向けた取り組みを進める必要がある。</li> <li>・全体への支援と個別支援による底上げの方針については今後も継続することが望ましいと考える。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県平均に満たない正答率の部分について、重点的に指導を行う部分を見極め、学力向上に向けた取り組みを強化する。</li> <li>・全体の底上げを主とした個別指導を今後も継続して取り組む。</li> </ul>		



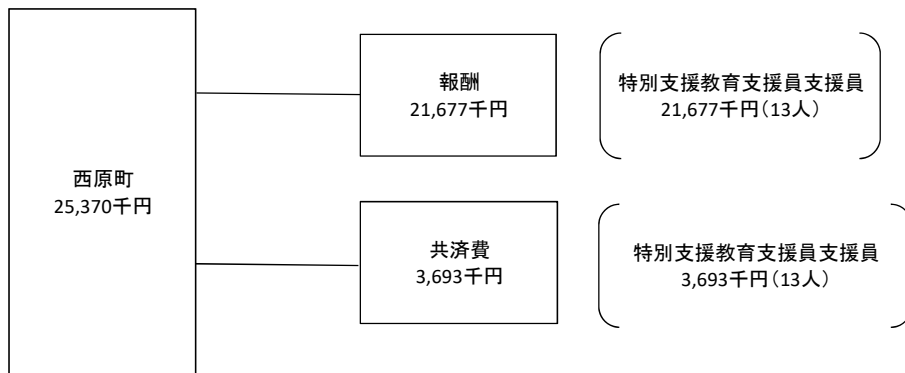
資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援員は公募により実績、知識等を勘案した上で選定しており、賃金については適正な手続きで執行された。</li> <li>○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。</li> <li>○費用・使途については、毎月の報告書にて確認し、事業目的に合致していると判断している。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④		特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
	担当部署名	教育部 教育総務課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
事業内容		特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。					Ⅲ-3-(1)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	40,768	32,614	26,063	26,129	26,185
		(b) 予算現額	40,768	25,799	25,653	21,163	26,185
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 6,815	▲ 410	▲ 4,966	
		(d) 繰越額	-	-	-	0	0
		A. 計 (b+d)	40,768	25,799	25,653	21,163	26,185
	B. 執行済額		37,410	25,791	25,546	19,745	25,370
	うち交付金充当額		29,927	20,632	20,436	15,795	20,296
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		91.8%	100.0%	99.6%	93.3%	96.9%
予算の状況の説明		予算上は年間を通じて13名の支援員が必要となるものとして計画していたが、対象となる児童生徒数に応じて一時的に12名の配置となった期間があったことから、不用(815千円)が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:13人	目標	( 13人 )	13人	( 10人 )	( 13人 )	
		実績	13人	13人	10人	13人	
	・支援員の資質向上のために、町内研修を実施(4回)	目標	( 2回 )	( 2回 )	( 4回 )	( 4回 )	
実績		4回	4回	4回	2回		
達成状況説明	・各学校の支援を要する児童生徒の実情に合わせ、小学校に特別支援教育支援員を10人、中学校に3人を配置した結果、対象児童生徒に対して適切な個別指導及び支援を行うことができた。 ・特別支援教育支援員研修会を2回実施し、支援員間の有意義な情報交換の機会を持つことや事例を生かし、児童生徒に対する対処方法を共有し、充実した支援につなげることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )	( )
		実績		93.9%	81.8%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	・対象となる児童生徒の保護者を対象にアンケートを行った結果、特別支援員の対応への満足度が81.8%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に比べ、満足度が低下しており、支援員の経験や技量不足を指摘する声が出ている。</li> <li>・本事業における支援内容と保護者が期待している支援内容が相違している場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員のスキル向上を行うために、これまでの座学的な研修から支援員としてのスキルが高い支援員を中心としたより実務的な研修や特別支援学級の担任等による指導などの実技的な内容とする必要がある。</li> <li>・支援員の配置を各学校から募る際の事前説明(支援の内容・支援員の出来ることなど)を十分に行う必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員への研修内容をより実技的な内容としたうえで、支援員の資質向上に取り組む。</li> <li>・支援員の配置を行う際に、祖語のない説明を行えるように要領及び説明資料等をブラッシュアップし、支援の内容が保護者に伝わるようにする。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		交付金	市町村	
25,370	25,370	20,296	5,074	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は公募により実績、知識等を勘案した上で選定しており、資金の支出については適正な手続きで執行された。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、実績や現状に合わせて定めており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については毎月の報告により確認し、必要なものであったと判断し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 幼稚園特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-イ		
	担当部課名	教育部 教育総務課		事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
事業内容		特別な支援を必要とする障がいがある園児に対し、特別支援教育支援員を配置することで、園児一人ひとりの特性やニーズに沿った支援を展開し、学園生活の困難の改善を図ることを目的とする。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,191	19,806	26,458	26,500	30,977
		(b) 予算現額	13,191	19,806	22,377	23,838	28,764
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 4,081	▲ 2,662	▲ 2,213
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	13,191	19,806	22,377	23,838	28,764
	B. 執行済額		10,874	19,487	21,750	23,811	27,764
	うち交付金充当額		8,699	15,589	17,399	19,048	22,211
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		82.4%	98.4%	97.2%	99.9%	96.5%
予算の状況の説明		当初、14名の支援員を配置予定であったが、重要な支援(1対1)を必要とする園児数が想定より少なかったこと、また、支援員の産休による退職(欠勤含む)や入れ替わりがあったことにより、当該期間分の不用額が生じている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保	目標	( 9名 )	( 11名 )	( 11名 )	( 14名 )	
		実績	9名	11名	11名	13名	
	支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	目標	( )	( )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績			実施	実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援対象児1名に対し支援員1名の配置を必要とする障がいの程度の重い園児の数が想定より少なかったため、当初14名を予定していた支援員の配置が13名となった。</li> <li>・支援員の業務内容について、日誌による記録のほか、支援児ごとの個別指導計画を作成し、ねらいや支援の手立てを設定することで、支援内容を明確にし、支援児の特性やニーズに沿った支援が実施できた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )	( )
		実績		94.80%	96.90%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援児に対して支援員を適正に配置できたことで、支援児の特性やニーズに沿った丁寧な支援を行うことができた。</li> <li>・支援児ごとに個別指導計画を作成し、園・担当支援員・保護者等で支援内容を共有することで、学園生活のみならず、家庭生活においても支援の必要性について共通認識が図られ、支援員配置に対する保護者満足度を96.90%とすることができ、目標が達成できた。</li> </ul>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援児数の確定が前年度末頃(2月)となるため、必要な支援員数の確保及び各園への配置等の調整期間が短く、年度当初の稼働に余裕がない状況に加え、支援を必要とする園児が年々増加傾向にあり、保育士や幼稚園教諭等の人材不足も深刻化していることから、支援員の確保自体が困難となっている。</li> <li>・園(支援員)と保護者との間で特別支援教育に対する共通理解が十分でない場合、保護者の意向と支援内容に温度差が生ずることがあるため、保護者への理解促進を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確実な人材確保を図るため、支援児の認定機関(こども課所管)との情報交換を密に行い、早い時期から支援児数の見込みを把握することで、求人業務に早期に取り組む。また、勤務条件や報酬額などの処遇改善についても検討する。</li> <li>・特別支援教育に対する園(支援員)と保護者との共通理解を深めるために、個別指導計画の内容について、十分な読み合わせや保護者ヒアリングなどを充実させ、保護者がどのような情報を知りたいのかなど、より詳細なコミュニケーションを図ることで、園と家庭を一貫した、より良い支援環境を整えることができると考えられる。</li> </ul>

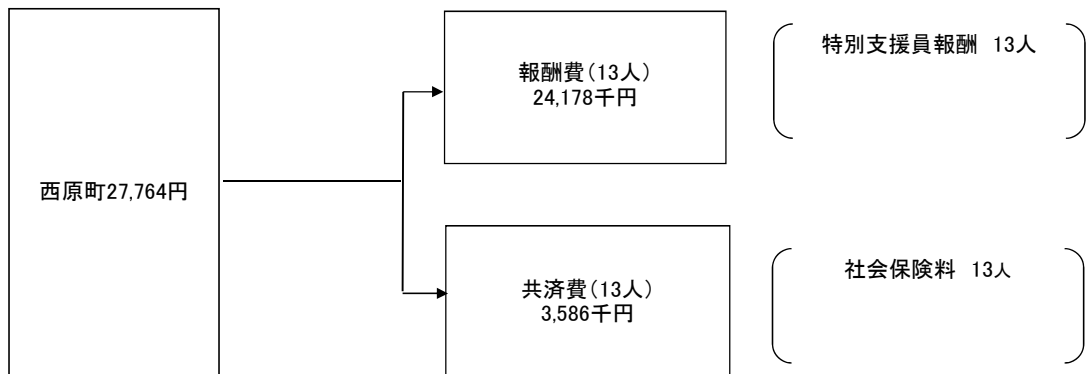
**今後の取り組み方針**

・支援員の確実な確保に向け、園や関係機関との情報共有や入園前の園児等の情報収集を強化するとともに、支援員の勤務条件や待遇等を整理しながら、必要な対応を実施していく。

・特別支援教育に対する共通理解を深化させ、支援児に対する支援内容について、共通理解・情報共有が図れるよう、個別指導計画の共有や取り組みに対する情報交換、園(支援員)と保護者との日常的な意見交換などに取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
27,764	27,764	22,211	5,553	0



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は履歴書及び面接により、適切な人員を選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模に関しては、町の保育所報酬及び他の市町村の類似事業の状況を確認し設定しており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については幼児教育に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①		認可外保育施設支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
	担当部署名	福祉部 こども課	事業実施(予定)年度	平成25~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
事業内容	支援員を配置し、各認可外保育施設の保育士に対する事務負担の軽減を行うことで、保育業務に専念できる環境を整備し、園児との時間の確保を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,846	1,846	1,847	1,799	1,816
		(b) 予算現額	1,846	1,846	1,847	1,806	1,816
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	7	0
		(d) 繰越額	-	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,846	1,846	1,847	1,806	1,816
	B. 執行済額		1,743	1,618	1,779	1,782	1,805
	うち交付金充当額		1,394	1,294	1,422	1,425	1,444
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		94.4%	87.6%	96.3%	98.7%	99.4%
予算の状況の説明		概ね事業執行計画通りに執行が行えた。不用額は、時間外勤務手当の未執行分である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	・支援員配置数:1人	目標	( 支援員1名配置 )	( 支援員1名配置 )	( 支援員1名配置 )	( 支援員1名配置 )	
		実績	支援員1名配置	支援員1名配置	支援員1名配置	支援員1名配置	
	・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	目標	( 巡回(10箇所) )	( 巡回(10箇所) )	( 巡回(10箇所) )	( 巡回(10箇所) )	
		実績	巡回(10箇所)	巡回(9箇所)	巡回(10箇所)	巡回(10箇所)	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と同様に事務支援員1名を配置。</li> <li>・管内所在の認可外保育施設10施設すべてに対し、年間を通じ巡回指導を実施することができた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	保育士へのアンケートで、事務負担の軽減が図られた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( )	( )	( )
		実績		90%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・保育士へのアンケートを行った結果、「事務負担の軽減が図られた」との回答が90%となり、目標を達成した。					

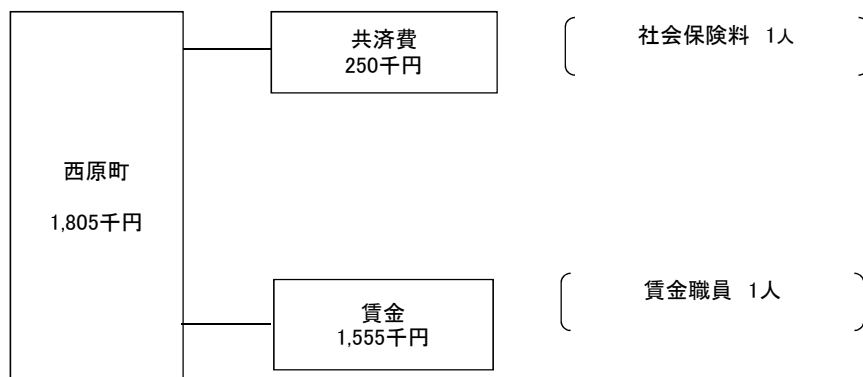
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業の事務処理については全施設で事務処理の定着がみられ、アンケートの回答を見て保育士の事務負担の軽減に一定程度の効果はみられたと思われる。</li> <li>・31年度途中より幼児教育無償化の完全実施が予定されており、認可外保育施設においてこれまで実施していなかった給付業務が法的枠組みの中で行われることとなるため、これまでに進んでいなかった形で事務処理が生じることが想定される。認可外保育施設には5年の期間中に一定基準の質の確保が求められる見通しとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に作成した事務処理マニュアルについて、新規事業の発生・既存事業の内容変更等が30年度中にも行われており、事務処理としての定着はみられるがマニュアルの改訂を繰り返すことさらなる負担軽減につながると考えられる。</li> <li>・幼児教育無償化については全体像が見えていない現状にあるが、認可外保育施設における事務処理の増加が想定されるが、事務負担軽減を続けることにより、現在一定基準の質が確保できていない施設においても質の確保に向け改善を進めることが可能と思われる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・本事業は町の財政難もあり、今年度で事業終了となる。今後についてはこれまでの事業実施内容を総括したうえで、担当職員のもとで新たに生じる作業も含めたマニュアルの改訂・さらなる利活用を中心とした対応を行っていく。  
 ・今後も認可外保育施設に対する質の確保が求められる状況に変わりはないため、質の確保が十分とされていない施設への支援を引き続き行い、全体的な質の向上に繋がるよう支援を続ける。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	市町村負担金	
1,805	1,805	1,444	361	0



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○任用については、人事担当部署に提出されている履歴書を基に選定を行っているため問題ないと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額11千円は時間外勤務が当初見込みより少なかったことに伴うものであり、予算規模は適正であると考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○共済費については、臨時職員を雇用するにあたり事業主が支払うべき法定福利費を支出しているため、必要な費目だと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	親子通園事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部署名	福祉部 健康支援課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
事業内容	乳幼児健診を受診した児の中で発達が気になり、かつ丁寧な支援が必要な家庭に対し、子の発達支援や親の子どもへの関わり方等の支援を行うことで、親の育児不安を軽減し、各子どもの状況に即した幼稚園等の次段階へのスムーズな移行を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,030	7,030	7,000		
		(b) 予算現額	5,122	7,030	7,000		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,908	0	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	5,122	7,030	7,000		
	B. 執行済額		5,121	6,612	6,234		
	うち交付金充当額		4,096	5,289	4,987		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.1%	89.1%		
予算の状況の説明		ほぼ計画通り執行している。不用額は、前半利用者減に伴う人件費残等によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	親子通園受け入れ:8組		目標 (      )	(      )	( 8組 )	(      )	
			実績		9組		
	【参考指標】 発達相談		目標 ( 発達相談 )	( 発達相談 )	(      )	(      )	
			実績	実施した	実施した		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子通園の必要性が高い親子9組を受け入れ、目標を達成した。</li> <li>適宜、保護者の発達相談を受けるとともに、全員の保護者と個別面談の機会を持ち、子どもの発達状況に関する相談に対応した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標 (      )	(      )	(      )	( 80% )	(      )
			実績			100%	
	【参考指標】 保護者の育児不安の軽減(アンケート実施 50%以上)		目標 (      )	( 50% )	( 50% )	(      )	(      )
			実績		71%	70%	
	進捗状況説明	対象となる児童の保護者へアンケートを実施し、「育児不安の軽減が図られた」との回答が100%となり、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標の達成要因としては、以下の三点が考えられる。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①本事業の必要性が高い利用者を選定していること</li> <li>②親の思い及び子どもの状況に即した支援(親のニーズを加味した言語療法・作業療法等事業プログラムの作成、個別支援計画を基にした療育指導や必要時の個別相談)を行っていることが考えられる。</li> <li>③療育経験のある保育士、言語聴覚士、作業療法士等、事業目的を達成するに必要な職員の確保や職員の研修等が適切に実施されている事などが考えられる。</li> </ol> </li> <li>課題としては、本事業以外の他機関との交流が少なかったことが挙げられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標の達成を今後も継続する為に、事業者との本事業における目的の共有や事業内容の検討を行い更なるスキルアップを目指す。</li> <li>課題に関しては、多様な団体との調整を行い多様な交流増を目指す。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・成果目標達成のために 今後も以下の点を取り組む

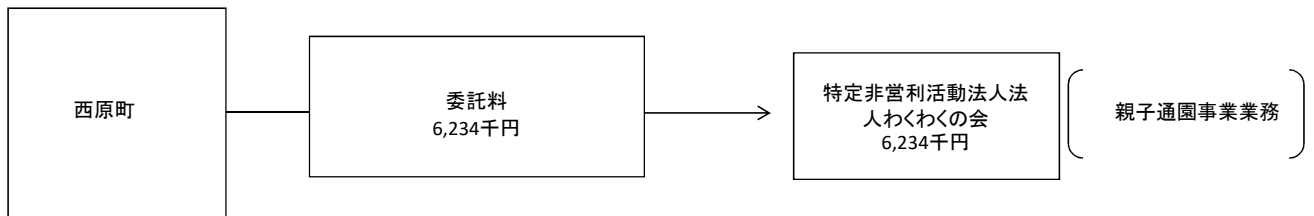
- ①児の発達が気になる等育児不安が強い親子を対象としているため、親子の状況に応じた丁寧な支援
- ②個別性に即したかわりか成果を上げる上では重要な要因となっており、今後も個別相談やアンケートの実施等、丁寧な関わりを継続する。また、親の思いや子どもへの支援の必要性に即した事業プログラムを作成し実施する。
- ③委託事業者と事業内容について検討を行い、利用者の意見を加味し更なるスキルアップに取り組む。

課題に対しては、

- ・保育所及び児童館等の団体との調整会議を実施し、前年度より回数増を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,234	6,234	4,987	1,247	0



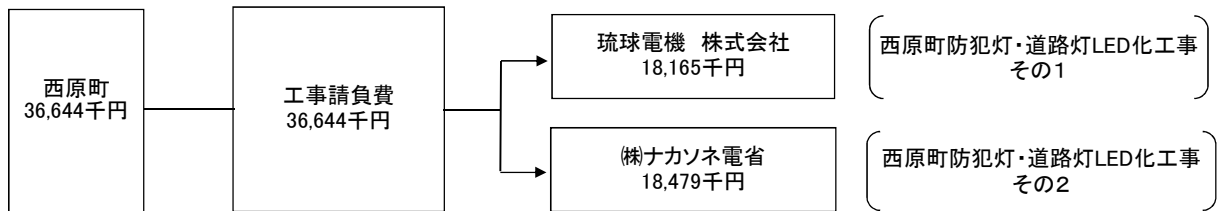
資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名型プロポーザル方式で選定しており、委託内容として専門的な知識や技術を必要とすることから鑑みても妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○利用見込を下回ったことにより一部不用が生じたが、事業内容に見合った適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、事業を実施するうえで、目的に沿った支出であり、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	西原町防犯灯・道路灯LED化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部署名	建設部 土木課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,128	40,000			
		(b) 予算現額	7,128	36,645			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 3,355			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	7,128	36,645			
	B. 執行済額		6,848	36,644			
	うち交付金充当額		5,477	29,315			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		96.1%	100.0%			
予算の状況の説明		入札残が生じたことから予算を減額(3,356千円)した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	防犯灯・道路灯LED化工事(約300基)	目標	( )	( 約300基 )	( )	( )	
		実績		263基			
	【参考指標】 調査設計業務の実施	目標	( 調査設計業務の実施 )	( )	( )	( )	
		実績	調査設計業務の実施				
達成状況説明	・H29年度の調査設計業務時点では、当初予算額にて目標とする約300基の設置が可能と計画していたが、H30年度の工事発注時点では物価上昇等により、設置可能な防犯灯・道路灯の基数が減少したため、目標を達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値:90,951kg-CO2	目標	( )	( )	( 90,951 )	( )	( )
		実績			80,548		
	【参考指標】 調査設計業務の完了	目標	( )	( 調査設計業務の完了 )	( )	( )	( )
		実績		調査設計業務の完了			
	進捗状況説明	・平成30年度の防犯灯・道路灯のLED化によりCO2排出量を80,548kg-削減することができたが、成果目標を満たすための灯数を設置できなかったため、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・物価上昇等の要因により、目標基数を設置できなかった。事業対象とする全ての防犯灯・道路灯(総数621基のうち約6割のLED化が未実施)のLED化に向けて引き続き取り組む必要がある。</p>	<p>・平成30年度における物価上昇等を踏まえ、計画的に防犯灯・道路灯のLED化を進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・計画的に事業を進め、事業期間内に対象とする全ての防犯灯・道路灯のLED化を完了できるように取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
36,644	36,644	29,315	7,329	0



資金の流点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく、予算規模については適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

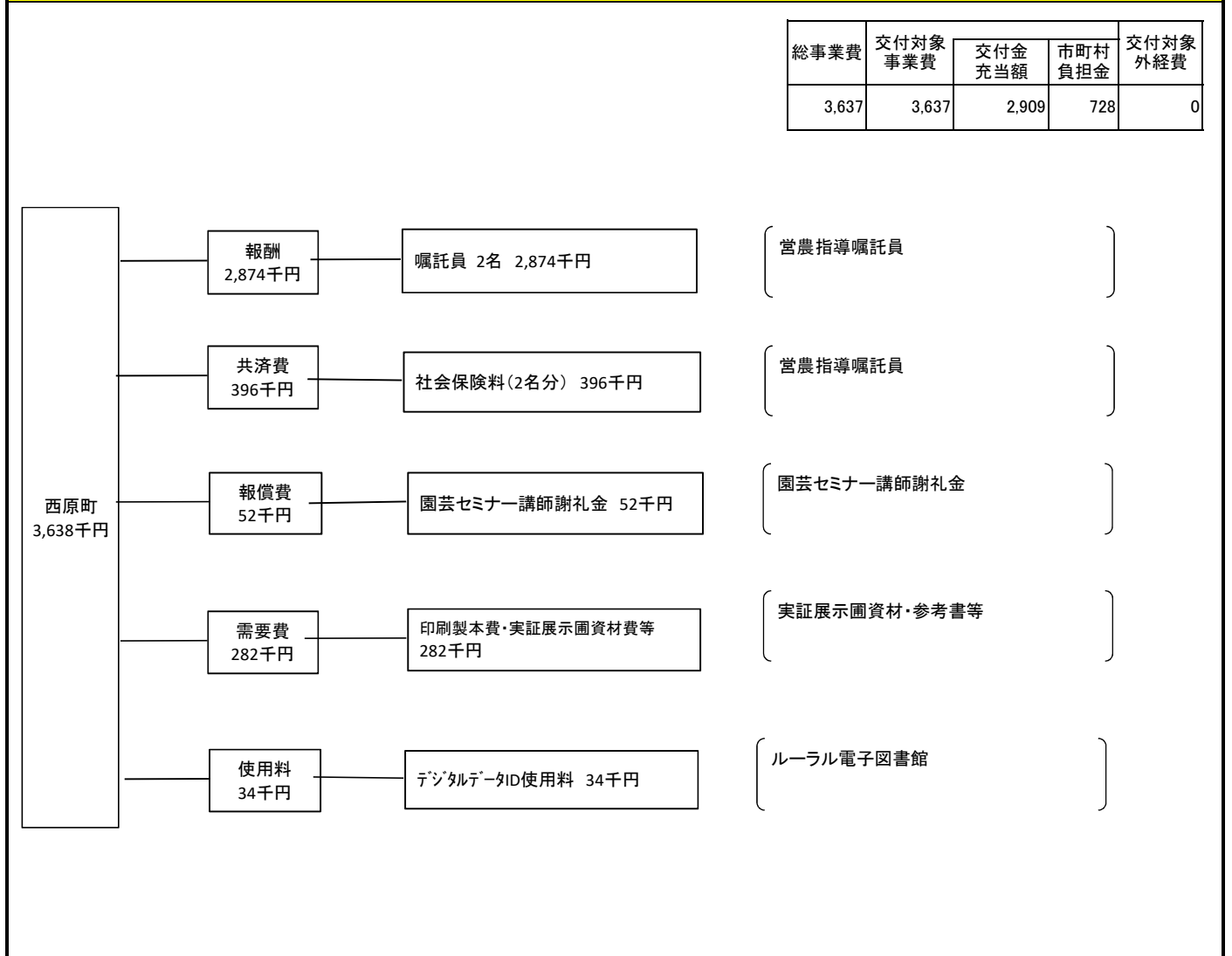
市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	農家経営安定支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ	
担当部課名	建設部 産業観光課	事業実施(予定)年度	平成26～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置し、既存農家へ個別による営農指導及び、町役場にて農家や農業就農を検討されている方々へ園芸セミナーを開催することで、栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに農業後継者の育成を図る。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	■直接実施      □委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,862	3,448	4,132	4,105	4,234
		(b)予算現額	4,862	3,187	4,132	4,267	3,870
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 261	0	162	▲ 364
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		4,862	3,187	4,132	4,267	3,870
	B. 執行済額		1,237	3,186	4,025	4,190	3,637
	うち交付金充当額		989	2,548	3,219	3,351	2,909
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		25.4%	100.0%	97.4%	98.2%	94.0%
予算の状況の説明		指導員に4月と10月に1人空き状況が出たが、概ね予定どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	指導員の配置 2名	目標	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	
		実績	2名	2名	2名	2名	
	年5回の農業講習会の開催	目標	( 4 )	( 6回 )	( 5~6回 )	( 5回 )	
		実績	5回	7回	6回	5回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員を2名配置するとともに、農業講習会を年5回開催し、目標を達成した。</li> <li>農家への指導等は個別訪問や園芸セミナー等を開催し、栽培品目に合わせて適宜行えた。</li> <li>セミナーに関しては、栽培技術だけではなく環境保全や作物の持つ機能性の観点からも行った。</li> <li>実証圃に関しては、パブリカ・中玉トマトの新品種に特化した。前年度までの品目については引き続き追跡中である。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	(      )	(      )	(      )
		実績		100%			
	・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	(      )	(      )	(      )
		実績		100%			
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回指導した農家へアンケートした結果、「栽培技術力が向上した」との回答が100%となり、目標を達成した。</li> <li>園芸セミナー参加者へアンケートした結果、「栽培技術への理解が深まった」との回答が100%となり、目標を達成した。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸セミナーを通して新規就農者等が新しい作物に取り組むことができたが、町担当が他業務との兼務であり、またJA園芸部会の事務局が町外にあるため、連携がうまくとれないことと、業者が直接農家へ資材や種苗等を提供することにより、本町が推進したい作物を増大させることができなかった事例がある。</li> <li>園芸セミナーや巡回指導を通して栽培技術の向上にはつながっているが、町として高品質農産物の安定生産をするには、重点品目を確立させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携協力体制の確立を行い、業者からの資材等の納入に関する情報収集を行い、本町が推進したい作物の共有を行う必要がある。</li> <li>重点推進品目について、研究会を立ち上げ、勉強会や視察研修等を充実させる必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・JAとの連携体制を構築し、業者からの資材等の納入に関する情報収集を行い、本町が推進したい作物を共有し農家の理解を得る。  
 ・青果物ブランド推進協議会(仮)の結成し、重点推進品目の選定検討を行う。また各重点推進品目ごとに研究会を立ち上げ、勉強会や視察研修等を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 、 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は知識等を勘案した上での採用をしており、適正な手続きで執行できたと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○若干の不要が発生したが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業執行の目的に即し、必要なものであったと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

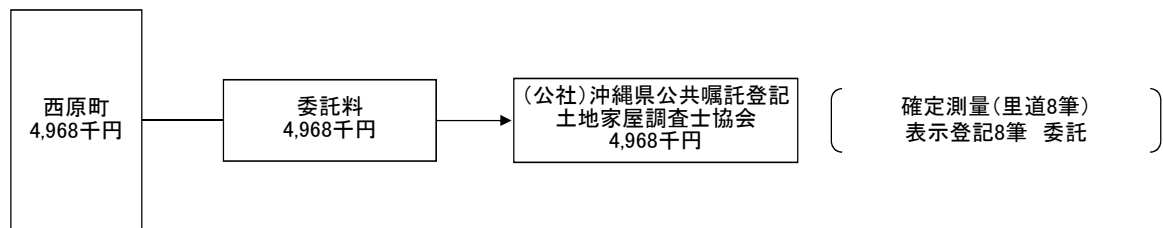


市町村名		西原町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	里道及び水路の境界確定復元事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ			
担当部署名	土木課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決 III-10-(2)			
事業内容	戦後、地積が確定されないままに家屋等が建築された箇所が多々あり、境界確定復元の基準点測量を実施し、現況と公図が合致していない箇所を把握することで公共用地の適正な管理を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R5 年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
予算額・執行額【単位:千円】 ('交付金'+ '市町村負担' ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	58,700	5,000	5,000	5,000	5,000	
		(b) 予算現額	58,610	5,000	4,523	5,000		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 90	0	▲ 477	0		
		(d) 繰越額	—	—	—	—		
	A. 計(b+d)		58,610	5,000	4,523	5,000		
	B. 執行済額		58,510	4,990	4,523	4,968		
	うち交付金充当額		46,808	3,991	3,617	3,974		
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	99.8%	100.0%	99.4%		
予算の状況の説明		事業計画どおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・確定測量の実施 ・表示登記申請の実施		目標 ( 実施 )	( )	( )	( )		
			実績 実施					
			目標 ( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	・確定測量を行い、里道を8筆について表示登記を実施し、目標を達成した。。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R5年度)	
			目標 ( )	( 完了 )	( 完了 )	( )	( )	
	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了		実績	完了	完了			
	【R5成果目標】 平成35年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地区内の境界測定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。		目標				( — )	
	進捗状況説明	・確定測量を及び表示登記申請を完了し、目標を達成した。。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当該地域は多くの地権者を有する工業地域であり、中には県内に在住でない方や亡くなられている方もおり、確定測量及び表示登記申請の計画的な実施が難しい。</p>	<p>・早期発注を行うことで、土地家屋調査士から定期的な報告を行ってもらい、現状の把握及び問題点の提起を早期把握する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・早期発注を行い、地主の搜索期間及び交渉時間を確保することにより、確定測量及び表示登記申請がスムーズに進捗するよう取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,968	4,968	3,974	994	0



資金の流 れ、 点 検、 費 目・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で、妥当であったと考えている。(沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会は、筆数・面積・立会等を調査士毎に一括管理することで円滑な対応が可能であるため。) ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については完了検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		西原町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 西原町雇用サポートセンター活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(10)-7		
	担当部署名	建設部産業観光課		事業実施(予定)年度 平成27~令和元年度		雇用機会の創出・拡大と求職者支援	
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-2	
事業内容	<p>求職者ひとりひとりに寄り添う形での就職支援を行うとともに、就職セミナーやスキルアップ講座などを定期的に行い、ひとりでも多くの町民がなるべく町内で就業できるよう支援していく。特に相談件数の増えている若年層、高齢者層向けに特化したセミナー等を強化していく。</p> <p>また、商工会等に呼びかけて、企業との継続的な情報交換を行い、求人への掘り起こしを行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	5,460	5,293	5,293	4,303	
	(b) 予算現額	5,460	5,293	5,293	4,303		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	5,460	5,293	5,293	4,303		
	B. 執行済額	5,044	5,293	5,293	4,298		
	うち交付金充当額	4,034	4,234	4,234	3,438		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	92.4%	100%	100%	100%		
予算の状況の説明	当初の予算どおりに執行。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	求職者と企業のマッチング	目標	( 10件 )	( 20件 )	( 30件 )	( 30件 )	
		実績	41件	59件	79件	47件	
	スキルアップ講座等	目標	( 10回 )	( 24回 )	( 16回 )	( 33回 )	
		実績	36回	56回	61回	34回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>求職者と企業のマッチングについては、47件実施し、目標を達成した。</li> <li>スキルアップ講座については、34回実施し、目標を達成した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値	
		目標	( )			( 35% )	( )
	実績				46%		
	【参考指標】新規就業者	目標	( 5人 )	( 8人 )	( 8人 )	( 8人 )	( )
		実績	8人	26人	36人	20人	
	【参考指標】スキルアップ講座受講者数	目標	( 30人 )	( 80人 )	( 40人 )	( 80人 )	( )
		実績	95人	148人	211人	142人	
	【参考指標】求人情報の掘り起こし	目標	( 5件 )	( 12件 )	( 10件 )	( 10件 )	( )
実績		193人	213件	248件	160件		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規雇用割合は46%(新規雇用者57名/登録者123名)となり、目標を達成した。</li> </ul>						

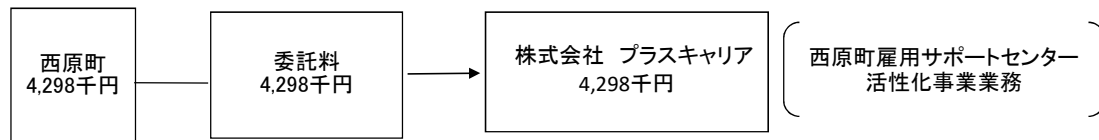
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動の初心者や就業に対して困難を抱えた方も多く、採用後比較的早期に退職する場合があります。就職以前のスキルアップが必要な場合も多い。どちらを勧めていくかの判断が求められる。</li> <li>・高齢の求職者が多いが、企業側で年齢制限があり応募できない場合がある。</li> <li>・企業からの求人は増えているが、求職者が減少傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がかかってもスキルアップ講座や職業訓練等の提案が必要になる。</li> <li>・企業側にも高齢者の就労に対する理解が必要なので、求人セミナー等で周知していく。また短時間勤務や体に負担の少ない仕事の求人を掘り起こしが必要。</li> <li>・雇用サポートセンターの周知の強化が必要。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・個別の状況をしっかり把握し就職かスキルアップかを的確に判断する。
- ・企業向けセミナーの周知を強化して理解を深めていく。
- ・広報にさらでの周知や、コンビニエンスストア、図書館等にチラシを設置し、雇用サポートセンターを周知していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,298	4,298	3,438	860	0



資金の流 れ、費 用・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルにて決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○若干の不用が発生したが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	西原町
------	-----

**平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	7-②	地域型就業意識向上支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-7
担当部課名	建設部産業観光課	事業実施(予定)年度	平成27~令和元年度	雇用機会の創出・拡大と求職者支援
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2

**事業内容**  
 本町に在住する高校生及び大学生が共に連携協力し、就業意識を向上するための商品販売活動や県外での視察研修や学生との交流、ビジネスを学ぶ実践として企業と連携した商品開発などを実施することで、高校生・大学生には企画力、問題解決能力などの自己研鑽能力の向上を目指す。地域活動への参加や、町外、県外に向けての西原町のPRをとおして、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を育んでいく。

**効果発現年度**  当年度  後年度( 年度)

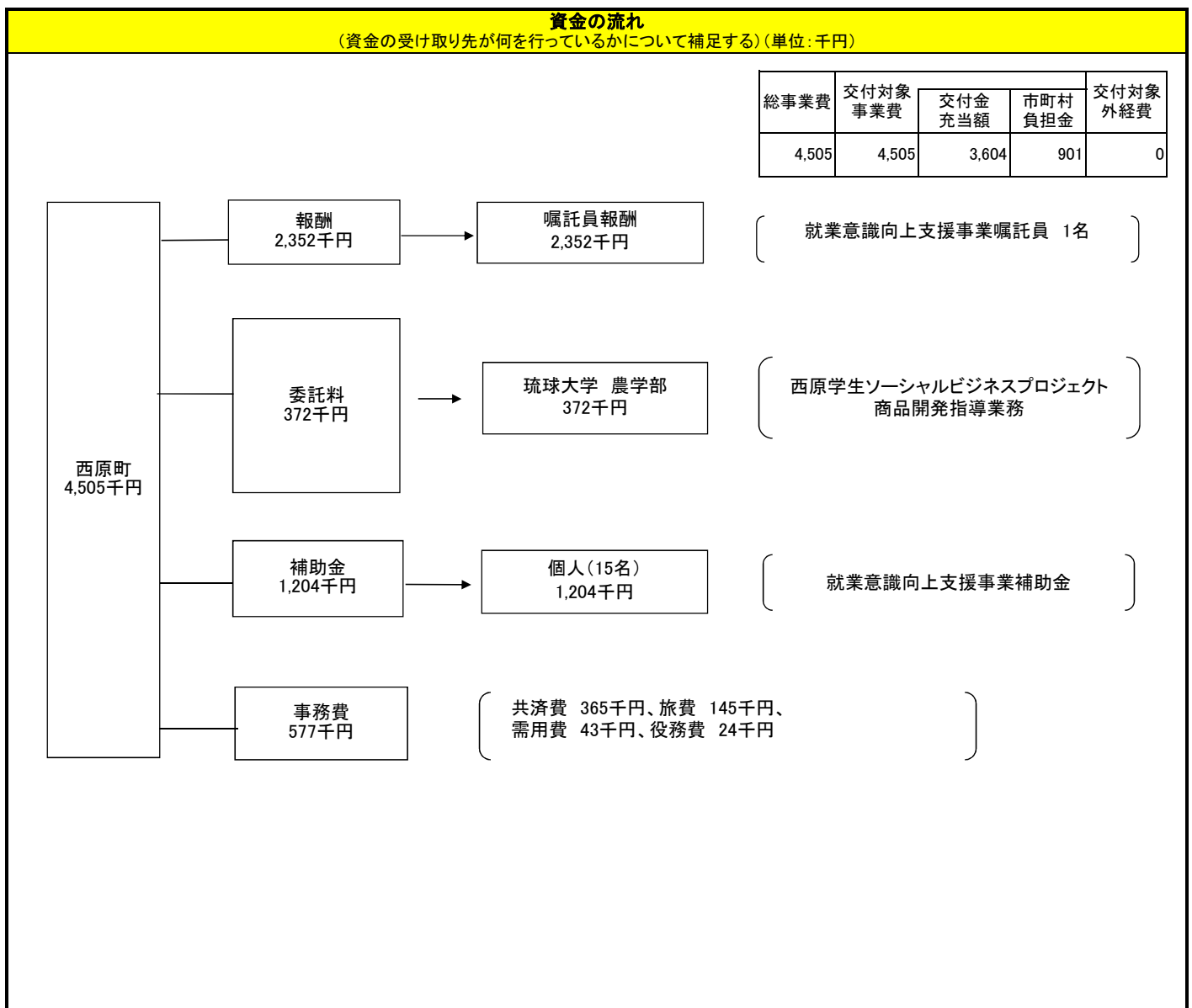
**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	19,757	12,956	13,799	4,688
		(b) 予算現額	19,757	12,956	13,782	4,688
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 17	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	19,757	12,956	13,782	4,688
	B. 執行済額		17,701	12,684	12,559	4,505
	うち交付金充当額		14,161	10,146	10,047	3,604
	次年度繰越額		0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		89.6%	98%	91%	96%
	予算の状況の説明		消耗品費および通信運搬費に不用額(183千円)が生じた。			

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況			
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		協力企業数 8社	目標 ( 4社 )	( 6社 )	( 8社 )
	実績	5社	17社	18社	20社
県外実習研修 1回	目標 ( 2回 )	( 2回 )	( 実施 )	( 1回 )	
	実績	3回	2回	実施	1回
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して協力いただける企業が年々増えているが、新たに協力いただける企業も開拓が難しくなっている。県外研修については、8月に三重県研修を実施することができ、県外で販売することで県内での販売との違いを学ぶことができた。また、県外で活動する他の団体との情報交換をすることができた。</li> <li>・新たに商品開発で協力していただける企業を開拓できた。</li> </ul>				

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上(85%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 85%以上 )	( )	( )
	実績			100%			
	・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	目標	( )	( 80%以上 )	( )	( )	( )
		実績		100%			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生、大学生の就業意識をアンケート調査したところ、通年の活動をとおして多くのメンバーに就業意識の向上がみられたと回答している。</li> <li>・郷土愛の醸成についても80%以上が西原町に愛着をもっていると回答している。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生たちが主体的に活動できるようにすることが必要だが、高校生からの提案を引き出すのが難しい。</li> <li>・これまで商品開発で販売に至っていない商品や、開発途中で止まっている商品がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生からの提案、意見等が出やすいような環境づくりが必要。</li> <li>・停止中のプロジェクトについて、再度企業と連携し、発売に向けて検討していく。</li> <li>・新たな企業との連携を模索する。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案の出やすい環境づくり、ワークショップ等により、意見の出しやすい組織づくりを進めていく。</li> <li>・新たな商品開発や販売計画を立てる等のため、企業の企画開発会議への参加等を検討していく。</li> </ul>		



資金の流 れ、 検 査 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルにて決定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は適正だと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	